

書とはいかなる芸術か

——比田井天来・南谷を起点として——

「書」と聞いたとき、いったいどのようなイメージを持たれるでしょうか。多くの人は、小学校や中学校の国語科書写の授業において筆で文字を書いたその瞬間を思い浮かべるかもしれません。しかし、それはあくまでも書の一側面に過ぎず、実は書の表現はもっとバラエティに富んでいます。

一般に書は文字を素材とした(造形)芸術であると定義されますが、「文字を素材とした」という点で、いささか議論の余地があります。その代表的なジャンルのひとつに、前衛書が挙げられます。前衛書は、文字から派生して発展させたものがある一方で、文字を起点としていないものもあります。前者のみが書であり後者は書としないのかというところではないでしょう。どちらも書の範疇に入るべきものといえます。では、書とはどのような芸術なのでしょう。

この命題については、今日に至るまで多くの人々によって様々な意見が述べられ、また議論されてきました。長野県北佐久郡片倉村(現 佐久市)出身の書家である比田井天来(1872-1939)、その息子で書家の比田井南谷(1912-1999)もそれぞれの掲げる理念をもとに多くの作品を世に生み出し、書道界に大きな影響を与えました。

本展覧会では、天来や南谷の作品、そして南谷と同時代に活躍した前衛美術家たちの作品を通して、「書」の本質について再考します。

I 今日の書

——上田桑鳩、手島右卿、金子鷗亭、桑原翠邦の果たした役割——

天来の四大弟子といわれる
上田桑鳩、手島右卿、金子鷗亭、
桑原翠邦の作品を展示



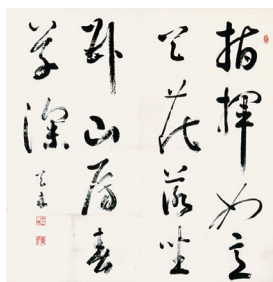
手島右卿《崩壊》1957年(光ミュージアム蔵)



上田桑鳩《鳳凰》1968年
(三木市立堀光美術館蔵)

II 比田井天来の書

天来の出身地である佐久という地で今まで大切にされてきた作品と比田井家に伝わる作品を中心に展示



清溪繞屋可濯足好
鳥隔江如喚人
海風散土書

(右) 比田井天来
《清溪繞屋可濯足…》
1890-1910年頃(個人蔵)

(左) 比田井天来
《指揮如意天花落…》
1935-37年頃(個人蔵)

III 書学院の果たした意義

天来や南谷の学書を支え、また書学院に集った書家たち学びの根幹となった書学院伝来の碑法帖と天来、南谷の臨書を展示



《雁塔聖教序》653年(個人蔵)



《泰山經石峪磨崖金剛經》
北齊時代(個人蔵)

IV 比田井南谷の書

「心線」による表現を追求した南谷の、「文字」に拠らない書や様々なマチエールを用いた作品、「文字」による作品草稿などの資料ともに展示



比田井南谷《作品64-24》1964年
(京都国立近代美術館蔵)

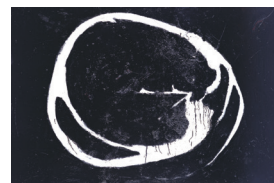


比田井南谷《作品25》1956年
(新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵)

V 比田井南谷の生きた時代

——書と前衛美術の交わり——

日本の抽象絵画の先駆者として知られる長谷川三郎や吉原治良の作品や、書家と交流があったことで知られるビエール・スラーージュやジョアン・ミロなど海外の芸術家たちの作品を展示



吉原治良《作品》1962年
(東京都現代美術館蔵)



ビエール・スラーージュ《無題》
1953年(富山県美術館蔵)
@ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo,
2026 G4265

会期中のイベント

状況により内容を変更する場合があります。最新の情報は佐久市立近代美術館ホームページをご確認ください。

●開会記念 無料開放

【期日】9月12日(土)

●開会記念「スペシャルギャラリートーク」

【日時】9月12日(土) 10:15~11:10

【講師】比田井和子(株式会社天来書院 取締役会長)

●「展覧会ガイド」学芸員による作品解説 *

【日時】9月27日(日)・10月17日(土)

14:00~(1時間程度)

●座談会「書とはいかなる芸術か」 要申込

【日時】11月3日(火) 13:00~14:30

【登壇者】笠嶋忠幸(出光美術館学芸部長・上席学芸員)
比田井和子(株式会社天来書院 取締役会長)

【場所】佐久市立近代美術館視聴覚室

【定員】50名

- *印のイベントは観覧料のみでご参加いただけます。
- 「要申込」のイベントは、9月1日(火)9時から佐久市LINEおよび電話(0267-67-1055)で申込受付を行います(先着順)

佐久市立近代美術館
油井一二記念館

SAKU Municipal
Museum
of Modern Art since 1983

〒385-0011 長野県佐久市猿久保35-5(駒場公園内)
https://www.city.saku.nagano.jp/museum/

TEL: 0267-67-1055 / FAX: 0267-67-1068

公共
交通機関

- JR北陸新幹線「佐久平駅」から
タクシー約10分
- JR小海線へ乗り継ぎ「北中込駅」下車
徒歩15分

自動車

- 上信越自動車道「佐久IC」または
「佐久平スマートIC(ETC専用)」から約15分
- 中部横断自動車道
「佐久中佐都IC」から約10分

